

## 第3回牧之原市学校用地候補地選定委員会(榛原地域) 次第

日時:令和4年10月7日(金)

榛原地域:午後1時~

会場:牧之原市役所相良庁舎4階大会議室

### 1 開 会

### 2 市長あいさつ

### 3 事務局からの情報提供

### 4 協議

- 候補地の評価と最終候補地
- 提案内容のまとめ

### 5 委員長あいさつ

### 6 教育長あいさつ

### 7 閉 会

担 当:牧之原市教育文化部学校再編推進室

電 話:0548-53-2640 FAX:0548-53-2657

E-mail:kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp

## 台風15号の状況について

### 1 状況報告

令和4年9月23日(金)から24日(土)にかけての台風15号及び突風等により、市では、建物被害、床上、床下浸水、道路、河川の破損、農業用施設被害、土砂災害、停電等が発生した。

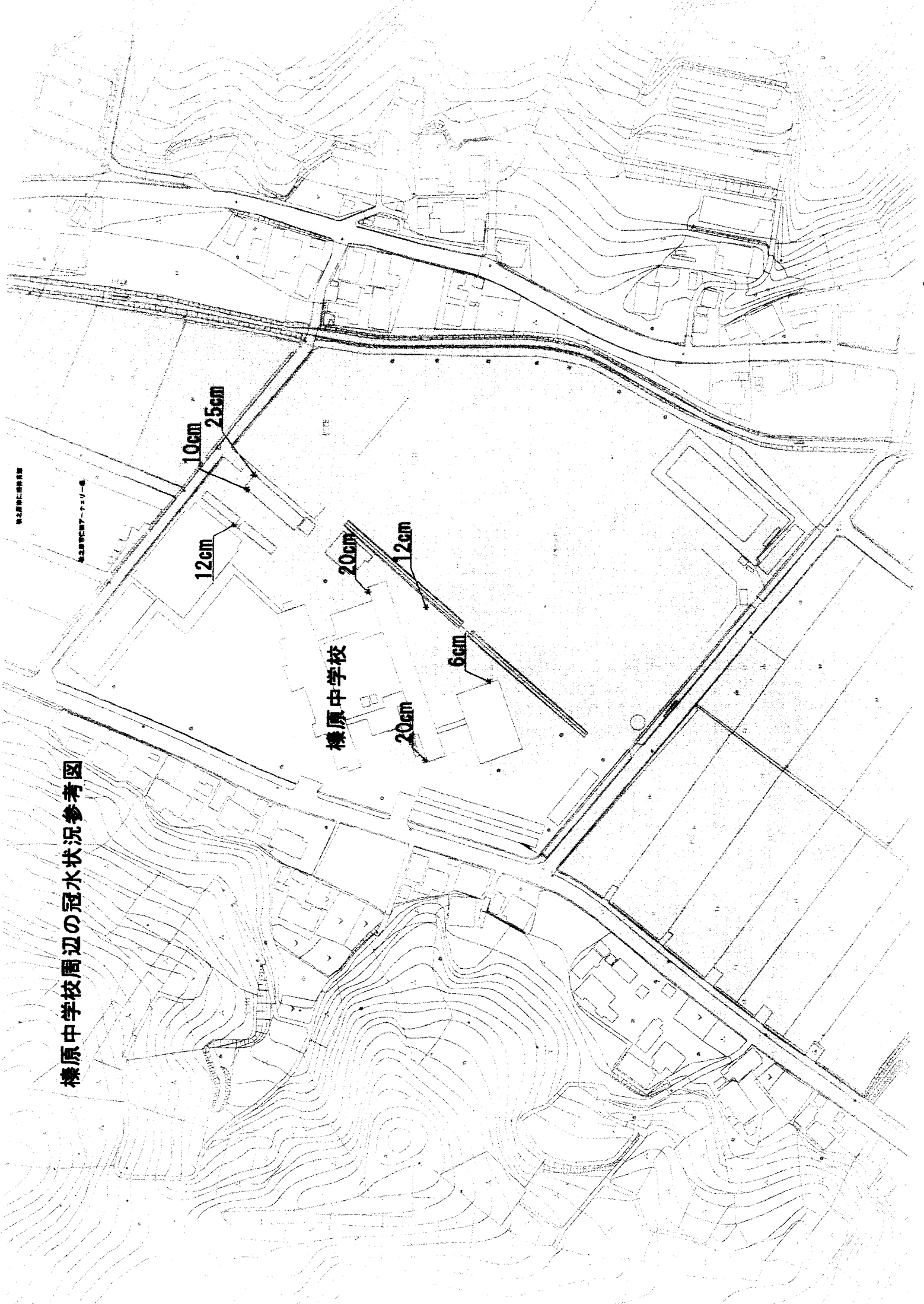
### 2 雨量

七夕台風以来の大雨となった今回の台風では、降り始めからの雨量は、市内で一番多く降った静岡空港で310.5mm、最大時間当たりの雨量は、23日20時50分から21時50分で108mmとなっている。

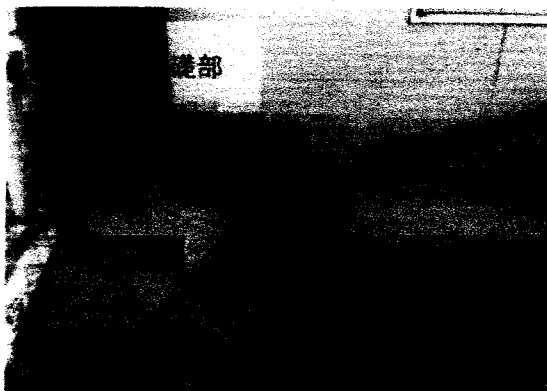
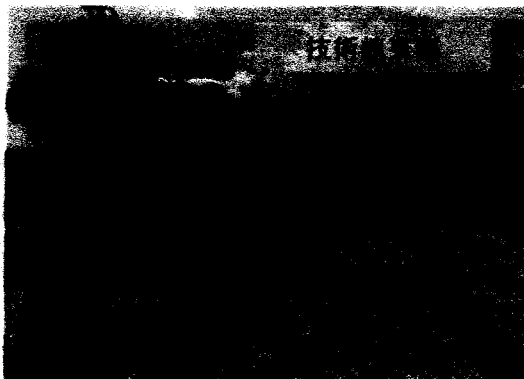
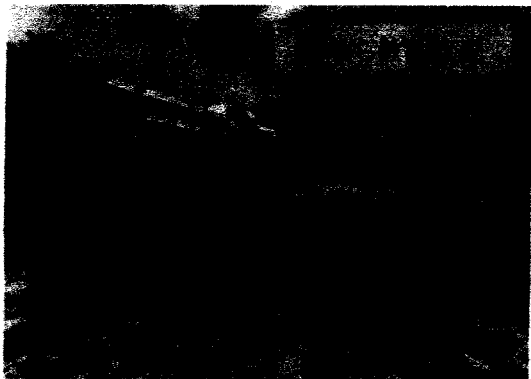
#### ■ 降雨量（静岡県サイポスレーダー数値）

場 所	降りはじめからの雨量	時間最大雨量（時間）
静 谷	257mm	98mm（20時40分から21時40分）
波 津	220mm	75mm（20時20分から21時20分）
静岡空港	310.5mm	108mm（20時50分から21時50分）

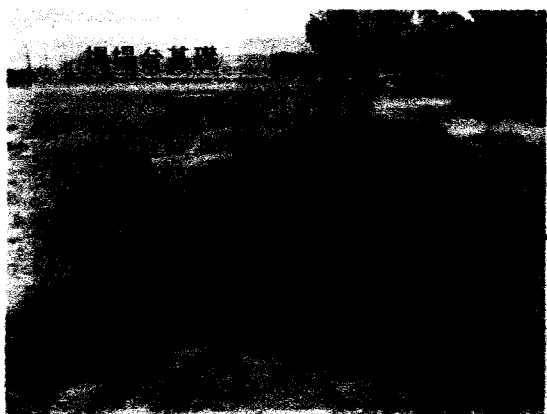
榎原中学校周辺の冠水状況参考図



浸水状況



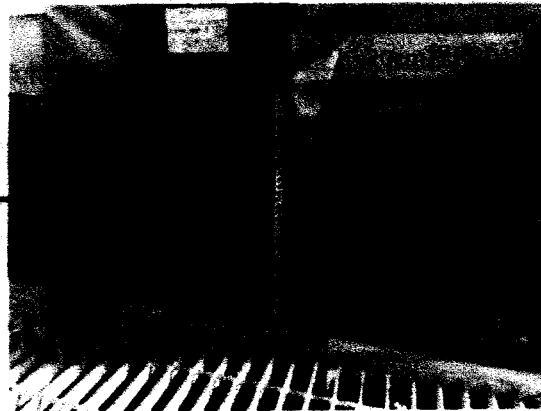
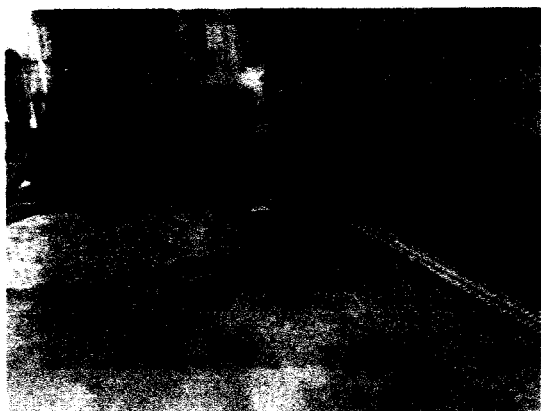
8cm程度浸水。床上浸水被害は無し



12cm程度浸水の痕跡あり

撮影年月日：令和4年9月26日

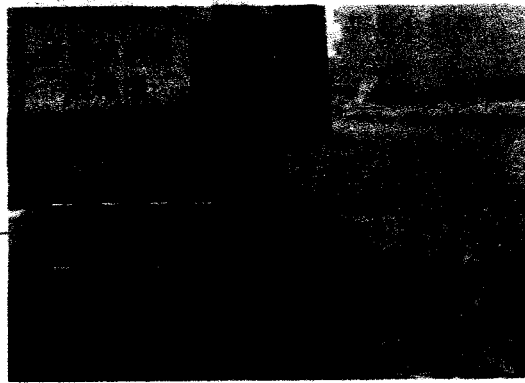
浸水状況



昇降口への浸水は無し

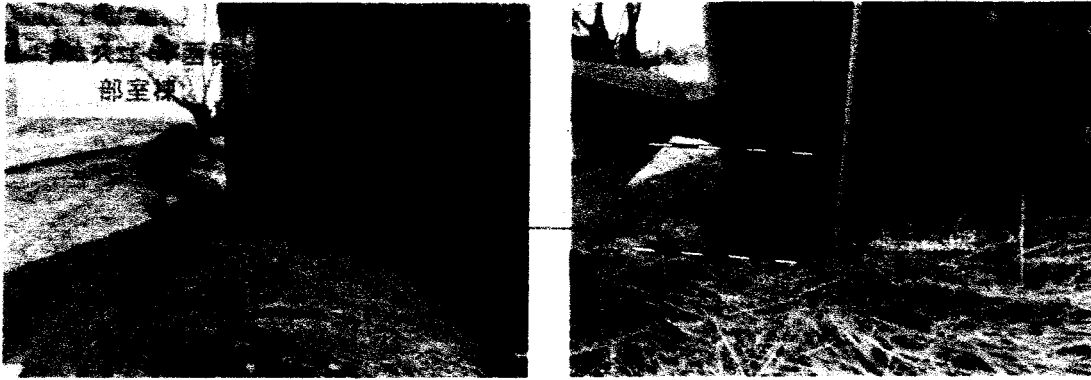


昇降口への浸水は無し



撮影年月日: 令和4年8月26日

浸水状況



建物基礎部から25cm程度浸水



撮影年月日: 令和4年9月28日

■榛原地域学校用地候補地総合評価シート

資料2

項目	評価視点	内容	配点	候補地1 ぐりんぼ											小計	候補地2 榛原中学校及び周辺											小計		
				候補地1 ぐりんぼ												小計	候補地2 榛原中学校及び周辺											小計	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	A			B	C	D	E	F	G	H	I	J				
1 防災 (安全性) 30点	津波	・津波に対して安全か。	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	86	
	水害	・河川洪水に対して安全か。	10	8	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	280	8	2	2	4	8	8	4	4	2	4	46	202		
	土砂災害	・土砂災害に対して安全か。 ・必要最低平場面積(榛原地区3.5万㎡)を 取ることができるか。 ・他の機能(駐車場・ロータリー・その他の機 能)等を追加することができる余裕を持った 面積が確保できるか。	10	8	8	10	8	8	10	10	4	8	82	150	8	4	8	6	8	10	10	2	4	70	144				
2 土地利用 15点	整備面積	・施設の配置がしやすい形状か。 ・死角等が生じない、見通しの良い地形であ るか。	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100	47	10	8	10	10	8	10	10	10	10	10	96	48				
	地形・ 整地形状	・健康で文化的な環境を得ることができる か。 ・周辺に騒音、臭気等はなく適切な教育環 境であるか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	50	115	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	47	82				
	周辺状況	・周辺に公共施設、商店、里山などがあり、 教育活動がしやすいか。 ・道路幅員があり、緊急車両の進入等に支 障はないか。 ・スクールバスのすれ違いや朝夕の交通状 態の恐れがないか。	5	3	5	5	5	5	5	5	4	47	68	5	5	5	5	5	5	5	5	3	4	47	129				
3 教育環境 15点	教育活動の しやすさ	・周辺に公共施設、商店、里山などがあり、 教育活動がしやすいか。	10	6	8	6	4	6	8	6	10	6	8	29	8	8	8	8	8	8	10	8	8	82	189				
	道路幅員	・道路幅員があり、緊急車両の進入等に支 障はないか。 ・スクールバスのすれ違いや朝夕の交通状 態の恐れがないか。	5	3	3	3	3	4	3	3	3	1	3	56	5	4	4	4	4	4	3	2	3	37	72				
	通学路	・徒歩、自転車通学者が安全に通うことがで きるのか。	10	6	8	8	6	6	4	4	6	2	6	64	8	10	8	8	6	6	8	4	8	80	126				
4 アクセス (利便性、通 学安全性) 25点	スクールバス	・スクールバスの駐車場やロータリーが確保 できるか。 ・スクールバスが適切に運用できるか。	10	6	8	4	6	10	6	6	4	6	8	39	12	15	15	15	12	12	15	6	12	126	26				
	工事費	・用地取得費、造成費、建設費、進入路整 備費、代替地等のトータルコストが抑えられ るか。	15	3	6	3	3	3	6	3	6	3	3	40	3	2	3	3	2	4	2	3	1	3	26	88			
	工事中周辺 への影響	・工事による周辺への影響があるか。	5	1	5	3	4	4	5	5	5	3	40	40	8	10	10	10	8	8	10	8	8	8	88	240			
5 用地・ 建設 (経済性、実 現可能性) 30点	工期の確保	・造成、代替地整備、用地確保などを含め た工期の確保が可能か。	10	2	4	6	2	2	4	4	10	2	4	10	2	4	6	2	2	4	4	10	2	4	10				





3  
第2回牧之原市学校用地候補地選定委員会(相良地域) 次第

日時:令和4年10月7日(金)

相良地域:午後3時~

会場:牧之原市役所相良庁舎4階大会議室

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 事務局からの情報提供

4 協議

各候補地の状況整理

5 市長あいさつ

6 連絡事項

7 閉 会

**【第3回のご案内】**

日程: 月 日( )

会場:

担 当:牧之原市教育文化部学校再編推進室

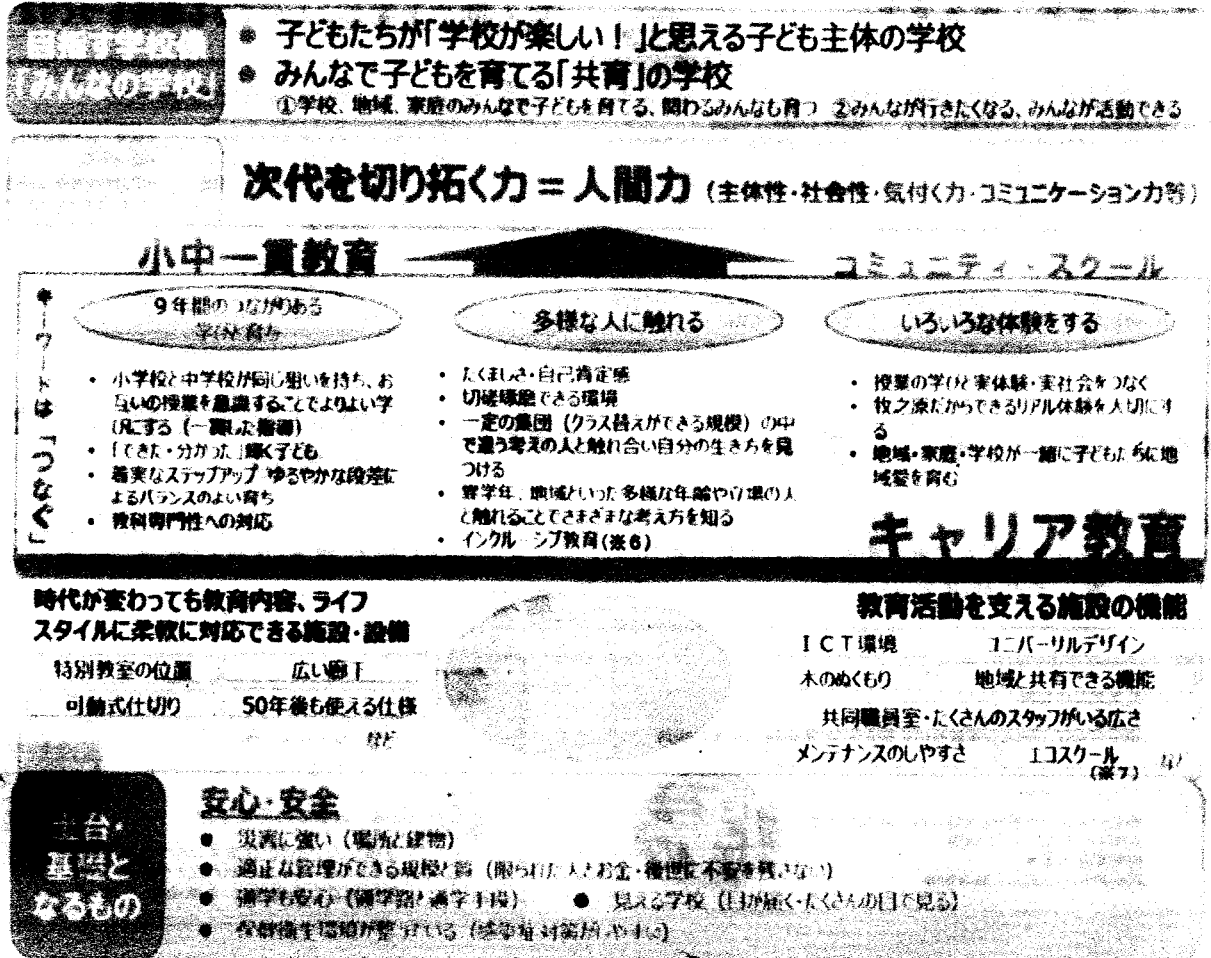
電 話:0548-53-2640 F A X:0548-53-2657

E-mail:kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp

学校用地に関連する学校再編計画等の記述

1 目指す学校像

【目指す学校像概念図】



※6 インクルーシブ教育 障害、経済上の理由、国籍などに問わず、「共に育つ」ことを基本理念として、物理的・心理的なバリアフリーを行う。障害のある者とない者が共に学ぶ仕組み

※7 エコスクール 環境を配慮した学校施設

## 2 学校再編計画の基本方針

### 基本方針1 すべての子どもが主役の学校

すべての子どもにとって、学びやすく活動しやすい教育環境を、子ども主体で考えます。



9年間のつながりある特色ある学び・きめ細かな指導

・ 校舎原形だからできるリアルな体験とオンライン学習のハイブリッドな学びのカリキュラム  
 ・ 障害、性別、国籍、経済上の理由にかかわらず「共に育つ」教育の充実  
 ・ 9年間の切れ目ない支援

・ 低学年2人体制での指導  
 ・ ハイリンガル指導員・学校司書の複数配置  
 ・ 相談体制の充実  
 ・ 不登校児童生徒の居場所や学習環境の確保



子どもたちの居場所となる快適で温かみのある生活空間

・ 明るく風通しがよい  
 ・ リフレッシュやクールダウンできる場所がある  
 ・ 院長喫茶、エレベーター等の設置

・ 図書室の配置と機能の拡充  
 ・ 感染症に対応した設備とスペースの確保  
 ・ トイレの洋式化・乾式化

### 基本方針2 「次代を切り拓く力」を育む学校

一人一人の可能性を伸ばし、次代を切り拓くために必要な人間力を育むことができる環境をつくります。



力をつけるためのプログラムと専門的で個別最適な学び

・ 次代を切り拓く力を育むためのプログラムで自分の将来を見通して自ら動く子どもに!  
 ・ プログラミング的思考、情報活用能力の育成

・ 外国語で話す機会創出 (ICT活用、ALT複数常勤)  
 ・ 一部教科担任制による専門的な指導  
 ・ 少人数指導や個に応じた学び



学校施設全体が学びの場

・ 1人1台端末に対応したゆとりある教室  
 ・ 校内どこでもICT機器が活用できるネットワーク環境

・ 発達段階に対応した空間、機能  
 ・ 活動に応じて空間を巡る配置、機能等ワーク環境

### 基本方針3 安全・安心な学校

児童・生徒、教職員等が安心して学校生活を送れるよう、市民にとって最も不安な自然災害である津波の浸水想定区域外に、自然災害に強い学校施設をつくります。



危機管理意識の育成・通学方法

・ 防災教育の充実  
 ・ 全下校の見守りの充実  
 ・ 通学方法は、子どもと保護者の負担を少なくすることを基本に協議



安全・安心の確保

・ 構造的な安全性確保と防犯、防災機能の充実  
 ・ 長期的に管理しやすい施設  
 ・ 通学環境の整備  
 ・ 脱炭素社会に向けた施設整備



### 基本方針4 地域の未来を担う子どもを育む学校

地域の人が関わり、地域の資源や行事を通じて、子どもたちが地域愛を育むことができ、学校がみんなの居場所となるようにします。



地域愛を育む・生涯学習充実

・ 新しい学校のコミュニティ・スクールの設置と充実  
 ・ 地域活動と交流の場づくり



地域や社会との共創空間

・ 多様な人が執務・作業するスペース  
 ・ コミュニケーションが取れるスペース  
 ・ 学校施設の高機能化・多機能化



### 働きやすく充実した指導ができる学校

教職員が働きやすく、充実した指導ができる組織体制と施設環境を整備します。



働きやすく、指導しやすい

・ チャレンジでき、やりがいを実感できる環境  
 ・ 専門スタッフの配置とICT活用による業務の効率化  
 ・ 研修や学校間の交流の充実  
 ・ 9年間の組織づくりと教職員組織のあり方



効果的・創造的な執務環境

・ 執務環境にふさわしい機能  
 ・ 十分な執務スペースの確保  
 ・ ICT等が活用しやすい環境  
 ・ 打ち合わせ等ができる共有スペース



# 必要面積算出根拠

資料2

法令で定めのある必要面積 = 塗潰し

相模地区義務教育学校、45学級	プール敷地		駐車場等	格技場	合計面積(※)
	大プール	小プール			
中学校：425人、15学級	1,200	375	14,535	700	34,462
小学校：757人、24学級		100	一般車:8,910		
特支：6学級			バス:5,625		

1200人規模校、39学級+特支6学級

相模地区義務教育学校、40学級	プール敷地		駐車場等	格技場	合計面積(※)
	大プール	小プール			
中学校：320人、12学級	1,200	375	12,780	700	29,687
小学校：553人、18学級		100	一般車:8,280		
特支：10学級			バス:4,500		

900人規模校、30学級+特支10学級

(※)合計面積について、施設間の隙間等、空き地として必要な面積は見込んでいない。

## 既設各敷地面積 (参考として) ※GISシステムにて計測

敷地面積	グラウンド	トラックm	体育館	格技場	プール敷地	大プール	小プール	駐車場	校舎(CAD計測)	学校敷地面積
榛原中学校	23,000	300	1,400	700	2,000	850	-	2,500 2棟	3,300	45,510
川崎小学校	16,500	200	1,200	-	1,200	375	72	2,000 3棟	2,000	32,062
細江小学校	6,700	200	1,300	-	1,000	375	84	1,900 2棟	2,000	20,833

相模地区	グラウンド	トラックm	体育館	格技場	プール敷地	大プール	小プール	駐車場	校舎(CAD計測)	学校敷地面積
相模中学校	12,000	300	1,700	-	2,000	800	-	1,300 3棟	2,800	32,551
相模小学校	8,800	200	1,200	-	1,500	375	150	1,000 3棟	2,500	27,676

平均値	グラウンド	トラックm	体育館	格技場	プール敷地	大プール	小プール	駐車場	校舎(CAD計測)
中学校	17,500	300	1,550	700	2,000	825	-	1,900	3,050
小学校	10,667	200	1,233	-	1,233	375	102	1,633	2,167

◇建築面積とグラウンド

建築面積	学校教育法で定める延床校地面積：練原地区12,655㎡、相良地区11,805㎡（生徒数からの学級数による）→3階建ての場合：X/3 = 4,200㎡(練原)、3,900㎡(相良)
グラウンド	学校教育法に基づく小学校設置基準で定める運動場面積：【練原】721人以上の場合、7,200㎡（児童数による） ※参考、相中2800㎡、相小2500㎡ 学校教育法に基づく小学校設置基準で定める運動場面積：【相良】241人以上、720人以下の場合、2,400+10（児童数-240）= 2,400+10（553-240）= 5,530㎡（児童数による） 学校教育法に基づく小学校設置基準で定める運動場面積：【練原】3600+10（生徒数-240）= 3600+10（425-240）= 5,450㎡（生徒数による） 学校教育法に基づく中学校設置基準で定める運動場面積：【練原】3600+10（生徒数-240）= 3600+10（320-240）= 4,400㎡（生徒数による） 【相良】3600+10（生徒数-240）= 3600+10（320-240）= 4,400㎡（生徒数による）

◇屋内運動場（体育館等）面積

屋内運動場	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令：小学校16学級以上の場合、1,215㎡ 中学校1～17学級の場合、1,138㎡
-------	--

校舎	建築面積	グラウンド	中学校	小学校	合計
練原地区	3階建ての場合：4,200	練原地区	5,450	7,200	12,650
相良地区	3階建ての場合：3,900	相良地区	4,400	5,530	9,930
					合計
					2,353
					2,353

参考：練中グラウンド23000㎡、相中グラウンド12000㎡

駐車場

練原地区駐車ます	職員数	来客等	駐車ます数	スクールバス
中学校15学級	30			
小学校24学級	48			
特支6学級	6	105	195	15
事務員等	6			
小計	90			

参考：練中体育館1400㎡、川小体育館1200㎡

└※格技場(700㎡)、仁田体(600㎡)は別

職員90台、来客等35×3=105台、身障者2台、スクールバス15台  
 30㎡×(90+105)台+45㎡×2台=5940㎡ 250㎡×15台=3750㎡  
 駐車場面積に一部車路が含まれるものの、敷地形状にもよるが、  
 ※構内道路は駐車場面積の半分程度と想定する。(パロタータリ一含む)  
 構内道路 5940÷2=2970㎡ 3750÷2=1875㎡ 計4845㎡  
 5940+3750+4845=14535㎡

相良地区駐車ます	職員数	来客等	駐車ます数	スクールバス
中学校12学級	24			
小学校18学級	36			
特支10学級	10	105	181	12
事務員等	6			
小計	76			

職員76台、来客用35×3=105台、身障者2台、スクールバス12台  
 30㎡×(76+105)台+45㎡×2台=5520㎡ 250㎡×12台=3000㎡  
 構内道路 5520÷2=2760㎡ 3000÷2=1500㎡ 計4260㎡  
 5520+3000+4260=12780㎡

※校地選定の頭段階では、スクールバスは校地内に駐車しておくことを前提としている。

※説明入り

取扱注意

第1回 学校用地候補地選定委員会

# 候補地の考え方について

令和4年8月31日 牧之原市教育委員会学校再編推進室

1

～未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画～

## 新しい学校の考え方

- 2030年を目標に、施設一体型義務教育学校を開校する
- 学校区は2つ
  - ① 相良小学校、菅山小学校、萩間小学校、地頭方小学校、  
相良中学校
  - ② 川崎小学校、細江小学校、勝間田小学校、坂部小学校、  
榛原中学校

2

# 学校の場所(エリア)

## 1. 榛原地域については、榛原中学校から ぐりんぱる周辺

榛原中学校周辺は、現在、中学生が通っている場所と変更がなく、各小学校から見ても中心に近い  
ぐりんぱるは、広いグラウンドが整備されているため、この周辺エリアを選定

## 2. 相良地域については、相良総合センター 「い〜ら」から相良総合グラウンド周辺

市街地に近い相良総合センター「い〜ら」から相良総合グラウンド周辺エリアを選定(市街地の背後地)



~未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画~

## エリア選定の理由

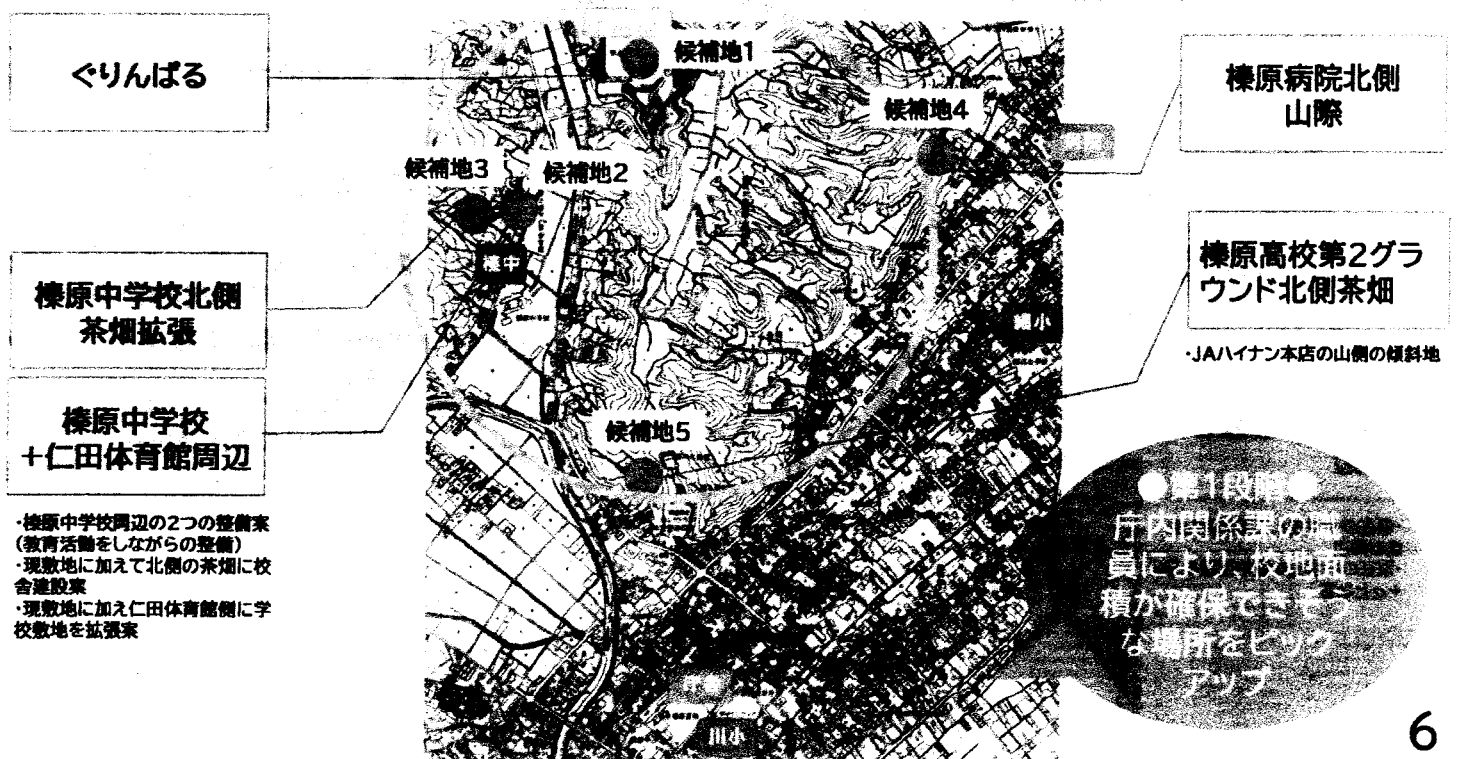
1. 津波浸水想定区域外で、災害に強い施設が建てられること
  2. 児童・生徒の安全面を考慮するとともに、できるだけ多くの児童・生徒が、徒歩または自転車で通うことができる場所とすること。
  3. 学校周辺の道路やインフラ等の状況を踏まえ、関係部署と連携を図り、都市計画等の他計画との融合を図って校地を選定すること。
- この条件に合い、総事業費が抑えられる場所を選定

# 市の候補地選定の条件

- ① 津波浸水想定区域外
- ② 必要最低限の敷地面積(榛原地域3.5ha、相良地域3ha)が確保できる
- ③ 公用地の活用・施工方法・道路等の状況等踏まえて費用が抑えられる
- ④ 保護者や地域の人からある程度の合意がされやすい
- ⑤ 市の他の計画との整合が取れる

5

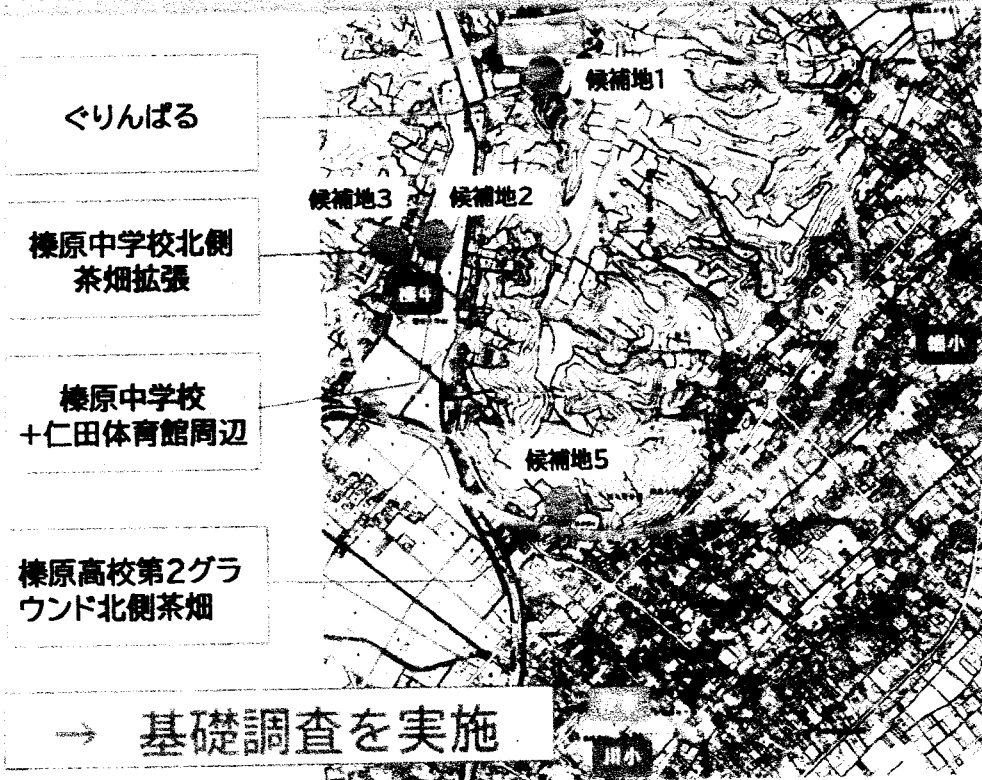
## 山形市立相良中学校候補地選定の候補地



6



## 榛原地域候補地(第2段階)



●第2段階●  
 図面上、  
 必要面積3.5ha以上確保  
 できそうなところ、思惟的  
 に実現できそうかと思  
 えるを取りこみ

■ 候補地から外した理由  
**候補地4 榛原病院北側山際**  
 ・3.5haより広く敷地をとることが難しい  
 ・接道要件が厳しい(宅地が連担している  
 ところに接道の整備が必要)  
 ・開発要件が厳しい(埋蔵文化財の包蔵  
 地であることなど、多大な事業費と時間を  
 要する)

## 榛原地域の最終段階の候補地



■ 候補地から外した理由(基礎調  
 査の結果)  
**候補地3 榛原中学校北側の茶畑**  
 ・傾斜が厳しく平場が確保が難しい  
 ・現学校敷地とのアプローチのための立  
 体横断施設の設置や、スクールバスのロー  
 タリーと校舎等との連携が難しい  
**候補地5 榛原高校第2グラウンド北  
 側茶畑**  
 ・平場が2.7haしか確保できない  
 ・県道からの進入路が急こう配、かつ、ス  
 クールバスのロータリーの設置ができない

●第1段階●

庁内関係課の職員により、校地面積が確保できそうな場所をピックアップ

菅山小学校周辺

・菅山小学校とその周辺

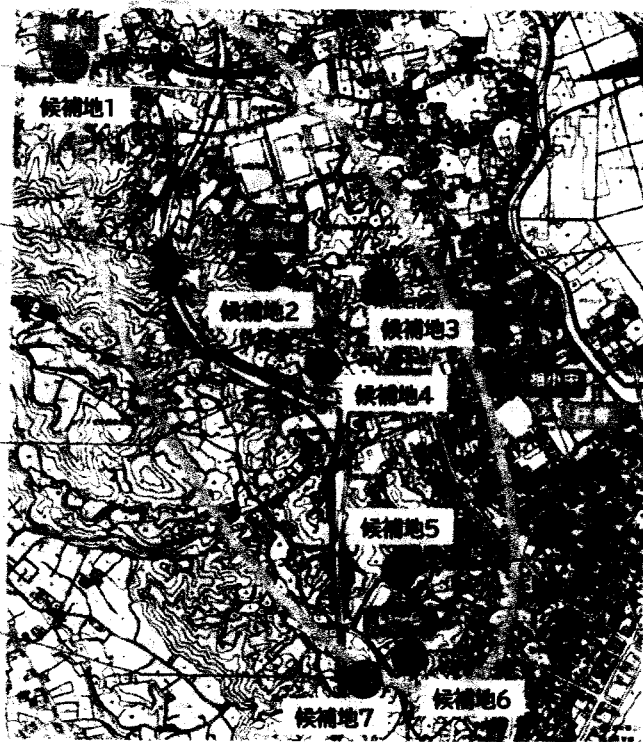
相良総合グラウンド

大沢IC周辺

・大沢IC交差点付近

い～ら西側

・多目的体育館の向かい側  
・河川あり



大沢公民館  
西側の山

・現在は山と谷になっている場所  
・ため池あり

い～ら北側

・本通りの西側の突き当りの傾斜地で  
い～ら横の道路を挟んだ北側に位置

い～ら南側

・多目的体育館の整備地東側

(エリア外)  
現相良小中学校の敷地

相良地域候補地(第2段階)

●第2段階●

図面上、必要面積3.0ha以上確保できそうなところ、要件的に実現できそうなところを絞りこみ

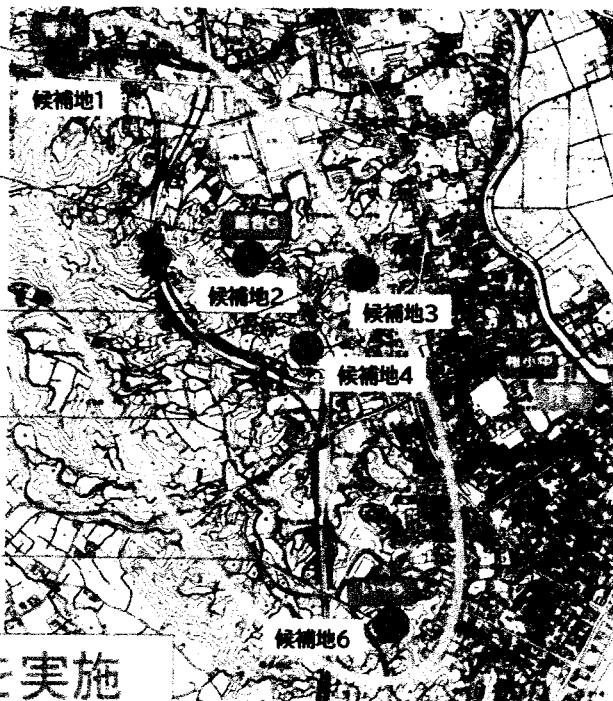
菅山小学校周辺

相良総合グラウンド

大沢公民館  
西側の山

大沢IC周辺

い～ら南側



候補地から外した理由

候補地5 い～ら北側

・平場面積が2.3haしか確保できない  
・急こう配な位置となる

候補地7 い～ら西側

・平場面積が2.5haしか確保できない  
・敷地中央に河川があり、大規模な河川改修などが必要となる

現相良小学校・相良中学校

・河川及び津波浸水想定区域内で最大5メートルの浸水深予想のため、安全安心を担保するには5メートル以上の土盛りが必要  
・津波浸水想定区域の設置は、他地域からの理解を得ることができない  
・相良城の文化財包蔵地で大規模な形状変更には全域の文化財調査が必要。教育活動しながら全体の文化財調査を実施することは不可能

→ 基礎調査を実施

# 相良地区環境整備の候補地

相良総合グラウンド

大沢公民館  
西側の山

大沢IC周辺



## 候補地から外した理由(基礎調査の結果)

### 候補地1 菴山小学校周辺

- ・現学校敷地が狭いので、周辺用地を購入しても、教育活動をしながら新たな校舎建設する面積が確保できない

### 候補地6 い～ら南側

- ・平場が2.8haしか確保できない(い～ら駐車場の高さまで下げても)
- ・スクールバスの進入路や駐車場の確保などが困難
- ・大規模造成により約70万㎡という大量の残土が発生し、残土処分費が高額となる

各候補地についての意見まとめ(候補地状況確認シートのまとめ)

資料4

■相良地域候補地1 大沢公民館西側

○思ったこと・気づいたこと

評価項目	小項目	意見
2土地利用	地形・整地形状	1 地形的に造成コストがかかる点の問題あり
		2 造成後の形状が5mの段差があり、子供たちへの負担が大きいのではないか。
		3 仮に造成したとして、段差のある敷地となり、好ましい教育環境とは言えない。
		4 段差等を考えると問題あり
4アクセス	進入路	5 国道473号よりの進入路はどうなるのか。
		6 473号線沿い以外の交通ルートが必要
		7 進入路の問題がある。大混雑になるのではないか
	通学安全性	8 スクールバス運行による国道の渋滞問題や、歩道がないため通学における危険性が高いことなど懸念される。
		9 市街地から近いので、徒歩、自転車通学はしやすい。
	10 便利	市街地に近く、国道に接する敷地である。徒歩・自転車通学には利便性の高い立地といえる。
5用地・建設	実現可能性	11 大規模な造成工事となる上に、ため池や埋蔵文化財等の不確定要素も多く、実現可能性に疑問
	造成	12 山を切り盛りするのは困難なのでは。
		13 山を削る工事が大変と思った
		14 整備時に切盛が多いか
15 切り盛りが大変ではないか		

■相良地域候補地1 大沢公民館西側

○課題だと思うこと・確認したいこと

	評価項目	小項目	意見
16	1防災	安全性	貯水池の安全性
17	2土地利用	整備面積	敷地的にかなりの造成工事が必要であるとともに、平場面積が必要ギリギリである。小中一貫の義務教育学校の敷地として十分な余裕がほしい。
18		地形・土地形状	段差のある造成地となると施設配置などに工夫が求められる
19	3教育環境	教育活動	学校が地域から独立する形になるが「みんなの学校」というコンセプトと合致するか。
20	4アクセス	渋滞	整備イメージ図だと、出入り口が幹線道路のみであり、これでは間違いなく登下校時に渋滞が起きる。
21		進入路	国道473号よりの進入路はどうなるのか。
22			進入路の安全を考えてほしい。
23			通学路をどうするか
24			通学路の問題点
25	道路拡張	国道の拡張など課題が多そうである。	
26	5用地・建設	造成	切盛の問題点
27		工事費	森林を含む高低差が大きい地形であり、多額の造成費を要することが懸念される。
28			造成工事のボリューム。残土処分の方法等。
29		対応に時間を要する	ため池や埋蔵文化財の状況。
30			敷地内にため池や、一部に埋蔵文化財包蔵地の指定がある
31	用地買収	候補地全部が民有地であり、買収がスムーズに進むか見通しはどうか。	

■相良地域候補地2 相良総合グラウンド

○思ったこと・気づいたこと

評価項目	小項目	意見
1 防災	安全	高台にあり、安全面では津波や風水害の影響を受ける心配がないことが最大のメリットである。
		防災面においては素晴らしいと思う。
	土砂災害	山に囲まれ、湿気が溜まりやすいことから、土砂災害や水はけへの心配
2 土地利用	整備面積	ある程度の土地が確保できると思う。
	地形・形状	平地(グラウンド)はよく整備されており、施設が配置しやすい形状である。
		高台ではあるが、三方を山に囲まれているため、湿気が溜まりやすい。
3 教育環境	周辺状況	周辺が工場。473号線の朝晩の交通量は多いです。
		民家等が少なく、防犯面で心配である。
		市街地に近い高台で景観がよい。周辺は森林で静かな学習環境が見込まれる。
		自然に囲まれているので、自然観察などの校外活動はしやすいと思われる。
4 アクセス	渋滞	登下校時に学校周辺で交通渋滞を起こすなどの心配は少ないと思われる。
		朝の時間帯の通学時間
	通学安全性	道路が2本あり、利用が可能だが通勤に使っているので安全性を考えてほしい
	通学路	急勾配の坂がある通学はたいへんだが、学校敷地内での児童生徒のトレーニングなどに役立つという考えもある。
		進入路は急こう配であり、徒歩・自転車通学者には負担が大きい。
	道路幅員	主要幹線道路から離れているので、今ある道路の拡張は必要
		進入路の整備
道幅も狭いので拡幅が必要。		
5 用地・建設	維持管理	山に囲まれ、湿気が溜まりやすいことから、建物が錆やすいことによる維持管理面での不安がある。
	代替地	高台にあり、代替地も必要ということなので、難しいと思いました。
		代替地整備にかかる経費が大きい。

■相良地域候補地2 相良総合グラウンド

○課題だと思うこと・確認したいこと

	課題項目	小項目	意見
23	2土地利用	整備面積	グラウンドの利用状況を考えて必要な大きさを考える。小さくしても芝生生えたらいいのか
24	3教育環境	周辺状況	景観
25		教育活動	学校が地域から独立する形になるが「みんなの学校」というコンセプトと合致するか。
26	4アクセス	渋滞	周辺の交通渋滞は大丈夫か？
27		通学路	幹線道路より進入路が急坂で長すぎる。子供たちの、徒歩・自転車通学が大変。
28			通学路の高低差があるが、安全面では良い
29		道路幅員	進入路の勾配や道路幅員(スクールバスや保護者の送迎車両が集中する時間帯に行き違いが可能か？)
30	5用地・建設	工事費	代替地の確保が必要とすると、代替地の買収・施設整備に相当額が必要となり、全体の事業費が大きいため、市の財政負担が可能かどうか、経済性が懸念される。
31		代替地	代替地の問題がある。
32			代替地の整備が必要であり、市内相良地区のどこにそれを建設するかを検討しなければならない。
33			代替地をどこに持っていくか
34			代替地となる適切な用地確保の可能性はどうか。
35			代替グラウンドは、本当に必要か？
36		代替グラウンドの整備候補地や現グラウンドの利用状況等は要確認。	
37	代替地費用	グラウンドの跡地は相良小・中学校にしたら費用は抑えられないでしょうか。(榛原グラウンドも)	
38	6地域性	合意形成	グラウンドが使用できなくなることについて市民の理解は得られるのか。

■相良候補地3 大沢IC周辺

○思ったこと・気づいたこと

評価項目	小項目	意見
1 防災	安全	安全面では、おそらく海拔12~15m程度でハザードマップ上津波浸水区域ではないが、万一想定外の津波の浸水等起きた場合、バイパスや総合グラウンドに近いのでそちらに避難できるだろう。
2 土地利用	施設配置	平場面積が一番広いので、余裕を持った校舎や施設配置ができるだろう。
3 教育環境	教育活動のしやすさ	市街地に近いこと、平場であること、みどり文化の森等の他の公共施設との関連を持てることなど、学校にとっても、まちづくりの面からも条件のよい場所だと感じた。
		学校が地域と近く、教育環境として様々な可能性が考えられる。
		市街地から近く、図書館もすぐそばであり、文教地区的な雰囲気を作れるのではないかと。商店等もすぐそばにあり様々な教育活動はしやすい。
		北側が緑に囲まれており、自然観察などの校外活動はしやすいと思われる。
		市街地に近く、周辺に商業店舗も散在しており、便宜性など教育活動や地域交流のしやすい環境と思われる。みどり文化の森に接続するなど恵まれた教育環境が期待できそうである。
	周辺状況	商店等が近いことによる下校時の商店への立ち寄り等心配な面もある。
なだらかな傾斜で良い。総合グラウンドと一体的活用可能。		
近隣に民家があり、防犯面でよい		
4 アクセス	通学安全性	大沢インター付近で道路の安全性が確保できるのか
	利便性	大沢インターの隣接地という交通利便性、通学路も徒歩・自転車通学に特別支障なさそうである。
	通学路	通学路も徒歩・自転車通学に特別支障なさそうである。 バイパス沿いなので、徒歩・自転車通学は困難
5 用地・建設	工事費	工事費が一番少なくて済む
	用地買収	住宅の移転等の問題点
6 地域性	地域との関わり	市街地に近い。活性化へ繋がる。
7 その他		私はここが適地と考える。



■相良候補地3 大沢IC周辺

○課題だと思うこと・確認したいこと

課題項目	分類	内容
2土地利用	地形・整地形状	校舎の目の前がバイパスなのがかわいそう
4アクセス	通学路	通学の問題点
	進入路	進入路がどのように整備されるかにもよるが、いずれにしろ現在の進入路の拡張だと、出入りが大変しにくいのでバイパス出入り口の交通の妨げになることが予想される。 安全性・利便性に配慮した進入路の整備が必要となる。
5用地・建設	工事期間	敷地の一部が埋蔵文化財包蔵地に指定されていることへの対応。
	用地取得	3つの候補地の中で唯一住宅移転が必要となるため、そちらへの対応が大変になることが予想される。
		用地の問題点
		民家が7戸あり、移転交渉が大変と思われる。
		住宅があるので、同意が得られるのか。
		候補地のほぼ全部が民有地であり、買収が計画通りに進むのかどうか、とくに既存住宅(7軒)の円滑な移転は可能かが課題と思われる。
経費試算に、住宅の移転補償費が含まれていないが、現時点では何件分を想定しているか？		
現在検討している全ての住宅の移転が本当に必要か？たとえば、校舎の高さを高くするなどの工夫により敷地を有効活用することで、開発面積を小さくすることは可能か？ その場合、残る住宅と学校との共存は可能か？など、要検討。		
6地域性	合意形成	住民への説明及び理解はどれくらい進んでいるのか。

## ■全体に関わる意見

○思ったこと・気づいたこと

評価項目	小項目	意見
2土地利用	必要面積	相良地域はなぜ3haか。校舎の建て方などでもっと小さい面積でも可能ではないか。
	配置計画	ロータリーよりも、昇降場所を決めての一方通行の方がよいと思われる。ロータリーにすると、どうしても入る車と出る車で渋滞が起きる可能性がある。  校舎の形が変わることは仕方ないとは思いますが、校舎に必要なものが何なのか、どれは必ず入っているかは大切だと思います
4アクセス	通学方法	すべて、徒歩・自転車・スクールバス・保護者による送迎のいずれかで登下校することとし、いわゆる小学校の学年(1～6年)等の、集団登校・集団下校は行わないという考え方で良いか。
	通学路	相良は3地点とも交通ルートが悪いと思いました
6地域性	合意形成	この用地選定はかなり大きな問題であるので、保護者の意見を聴取することはできないか。
7 その他	候補地	い～ら北側やい～ら西側がなぜ候補地として残らなかったか。もっと詳細の説明がほしい。
7 その他	候補地	相良小中学校を盛土して候補地とできないか。

相良地域各候補地の疑問・課題に対する回答

資料5

■ 候補地1 大沢公民館西側

Q 学校が地域から独立する形になるが「みんなの学校」というコンセプトと合致するか。

- ・ 住宅地に近く、人の流れを生み出すことは可能だと考える。

Q 国道473号からの進入路は？歩道は付けられるか。

- ・ 造成予定の敷地の地盤高と、国道473号の道路の地盤高とは約8mの高低差がある。国道の西側に進入路を設け、バスの待機用として20mの平地を確保する形を想定しているが、国道との接続部から進入路を付けていくと、距離100m、勾配8%（遠渡坂は6%）の坂道を設ける必要がある。**図-1**
- ・ 近くに複数の交差点や信号機があり、朝夕の交通量が多いため、進入路をつけるにあたっては警察との交渉が必要となる。また、右折レーンの設置が必要になると考えている。**図-2**
- ・ 通学路にするには歩道が必要だと考えるが、国道の管理は県となるのため、歩道をつけるには県との交渉が必要となる。
- ・ 国道沿いに家屋が続き、空き地もないため、歩道設置には、広範囲の用地買収が必要となる。

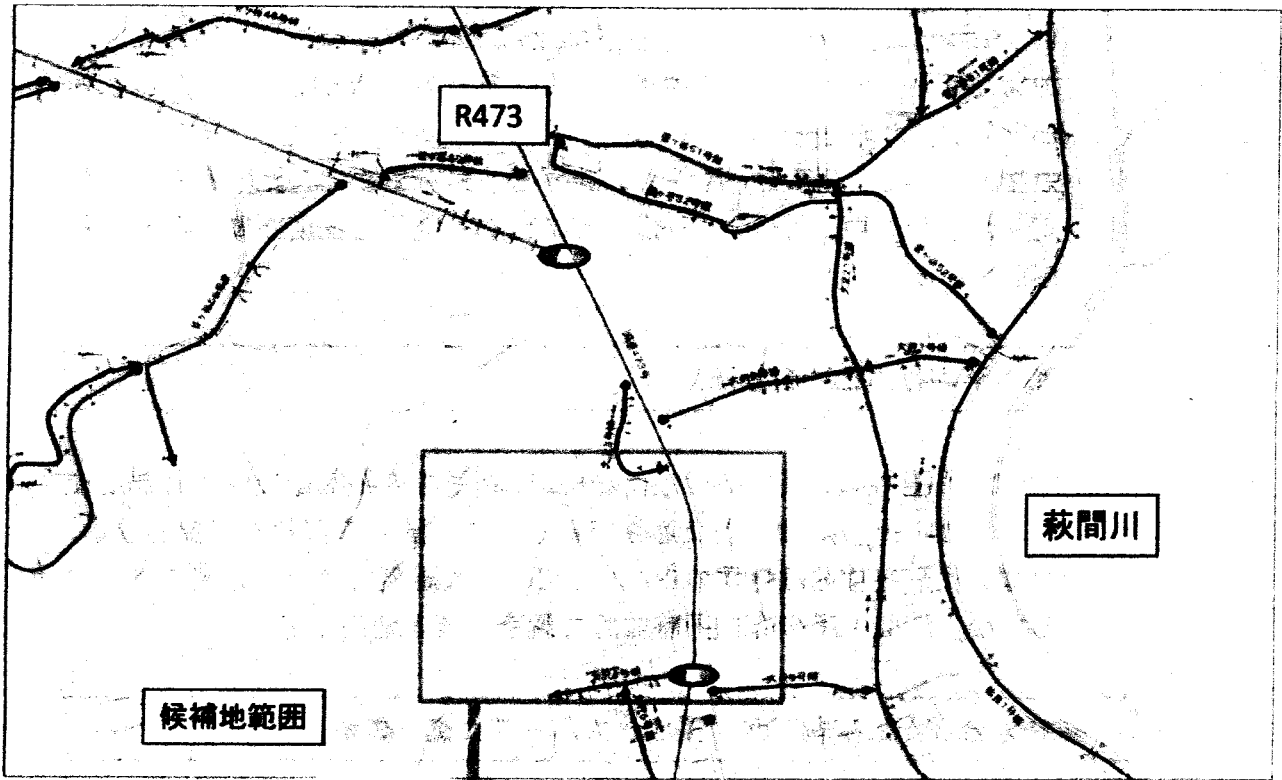
大沢公民館西側候補地における進入路想定図



大沢公民館西側候補地における現況地形について

図-2

地形図



航空写真



**Q 造成工事の規模と残土はどのくらいになるか。**

- ・ 11万 $\text{m}^3$ の山を切り、谷を埋める形になる。敷地外になるべく出さない形で切り盛りしても、敷地内処分できない残土が4万 $\text{m}^3$ 発生し、これを外部で処分する形となる。
- ・ 残土処分には、運搬費、処分費が掛かる。処分場までの距離を8kmと想定した場合、単価5,000円/ $\text{m}^3$ として処分料2億円程度必要であると算出している。

**Q ため池や埋蔵文化財の状況は？**

- ・ このため池には防災用の指定はないが、利用者の特定や交渉が必要となる。また、所有者は国土交通省であるため、国との協議も必要となる。
- ・ 埋蔵文化財包蔵地は敷地の中心にあるが、大規模でないと想定されているため、造成工事の際に同時並行で調査可能と想定している。

**Q 候補地全部が民有地だが、買収がスムーズに進むのか。**

- ・ 茶畑及び現状利用のない山林等が主であるため、補償物件は少ない見込みである。しかしながら連絡を取ることが難しい地権者がいることも確認している。

## ■ 候補地 2 相良総合グラウンド

Q 学校が地域から独立する形になるが「みんなの学校」というコンセプトと合致するか。

- ・ 地域から独立する形にはなるが、比較的、市街地と近い位置にあるため、工夫により人の流れをつくることは可能だと考えている。

Q 進入路の勾配や道路幅員で、スクールバスや保護者の送迎車両が集中する時間帯に行き違いは可能か。

- ・ 進入路の勾配は南側約 6 % (遠渡坂程度) であり、通学時間帯の混雑はある程度想定される。
- ・ 北側の進入路は幅員が狭いため、幅員の拡幅工事をするか、または、例えばバスは南側から、普通車は北側から等、敷地の使い方や駐車場の配置を工夫して対応するなどの対応が考えられる。
- ・ 北側の進入路は歩道がないため、設置が必要と考える。

Q 山に囲まれているため、湿気が心配。

- ・ 現状、日当たりがよくないのは事実で、特に冬場は霜が降りて日中グラウンドがぬかるむことがある。整備にあたっては検討が必要だと考える。

Q 代替グラウンドの整備候補地や現グラウンドの利用状況は？

- ・ グラウンドの代替地の具体的な案は現在まだない。
- ・ 現在のグラウンドの利用状況は、令和 3 年度の年間利用実績によると、年間 311 日の解放日数に対して、延べ 363 回の利用で稼働率 116.7% (利用人数：17,366 人、11 団体) となっている。

Q 相良小・中学校をグラウンドの代替地にして費用を抑えられないか。

- ・ 学校跡地をグラウンドの代替地とすることで、用地取得費分の費用を抑えることは可能だと考える。
- ・ ただし、相良小中学校の跡地をグラウンドの代替地として利用する場合は、敷地一帯が相良城の埋蔵文化財包蔵地として指定されているため、発掘調査が必要となるが、教育活動を行いながら調査を行うことは不可

能だと考える。

- ・ 新しい学校の開校後にグラウンドを整備する場合は、既存校舎の解体、発掘調査の後に、グラウンドの整備という流れになるため、グラウンドが使用可能となるまでにはかなりの時間を要する。そのため、現在、総合グラウンドを利用している団体については、グラウンド整備完了までの間、別のグラウンドを利用等の対応を求める必要がある。



### ■ 候補地3 大沢 IC 周辺

Q 埋蔵文化財包蔵地への対応は。

- ・ 想定範囲は限定的であるため、造成工事と並行して調査が可能と想定している。

Q バイパス沿いとなるが通学は大丈夫か。

- ・ 北東側に進入路を整備する必要がある。これを整備すると、北東側と南側の両方から学校に入ることができるようになる。そのため、車両進入路と徒歩・自転車の進入路に分けて整備することも可能と考える。



- ・ 通学路に歩道を整備する必要がある。
- ・ 今後、150号バイパスが延伸整備されることになった場合は、道路の取り付け等について、国・県との協議が必要となる。
- ・ しかし、現時点では、150号バイパスの整備時期等が未定であるため、学校を先行して整備することとなる。

Q 候補地のほぼ全部が民有地であり、買収が計画通りに進むのかどうか。特に既存住宅の円滑な移転は可能か。

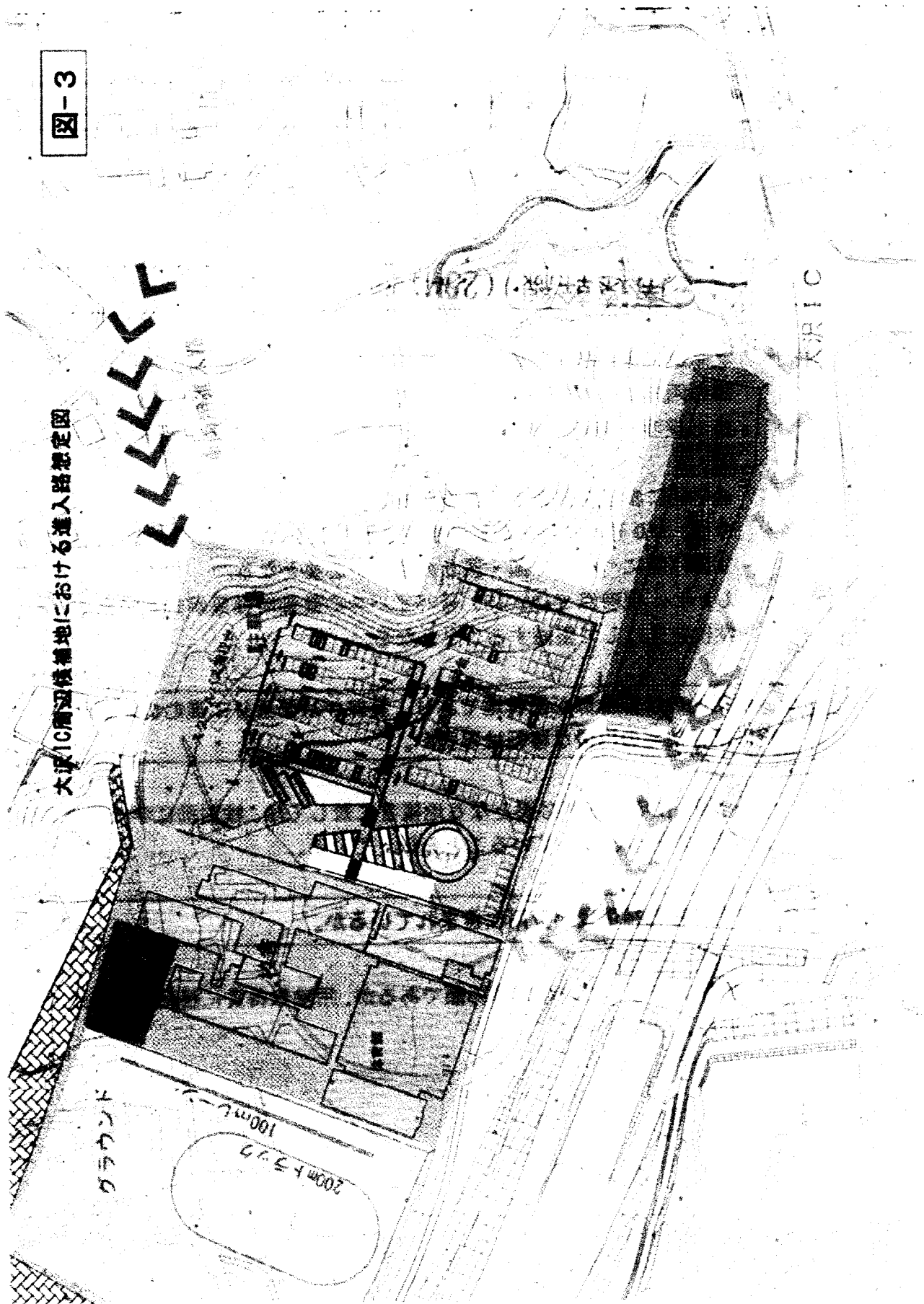
- ・ 今回、住宅移転が必要となる地権者に対しては、検討前に学校用地の候補地の一つとなっていることを伝えている。

Q 住宅の移転補償費が費用に含まれているか。

- ・ 物件調査をしていない概算額であるが、用地取得費に移転補償を含んでいる。

図-3

大塚IC周辺候補地における進入路想定図




## ■ その他

Q 相良地域の必要面積が3haとあるが、建て方次第にもっと少ない面積でも可能ではないか。

- ・ 3haの算出面積を構成しているものには、校舎、体育館、プール、グラウンド、格技場、駐車場が含まれており、駐車場以外は国の基準に基づいて算出している。(詳細は資料2を参照)
- ・ この面積は、施設間のすき間を考慮しない最低面積として算出している。
- ・ 敷地面積が取れる場所がない場合は、校舎を高層建築とする、駐車場をなくす等の対応をしている学校はあるが、当市の場合は、子どもたちの望ましい教育環境の観点から、狭い学校敷地ではなく、のびのびと生活ができる適度な広さの敷地が確保できる場所としたいと考えている。

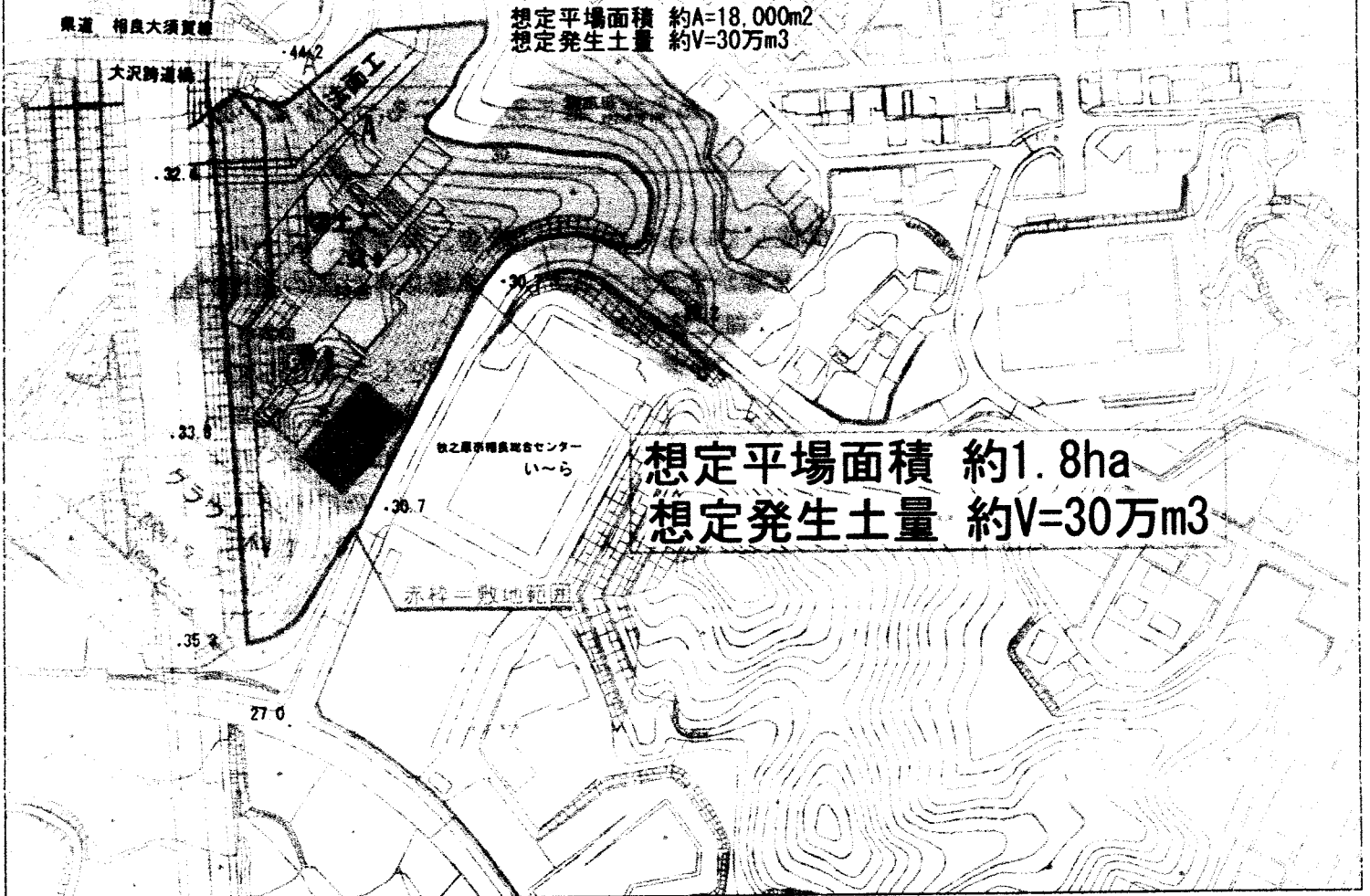
Q い～ら北側が候補から外れた理由を知りたい。

- ・ い～ら北側は、い～ら側の道路の地盤高に合わせた平場をつくり、国道473号バイパスのぎりぎりまで広げた場合、かつ盛土をした場合で最大面積が約2.3haと想定した。
- ・ しかし、盛土をして敷地を確保するためには、調整池や排水先の水路、盛土のための擁壁等の整備が新たに必要となることから、盛土自体の施工が難しい。そのため、盛土や調整池をつくらないように施工し、法面工の施工幅を考慮した場合は、確保できる平場面積が約1.8haと、かなり狭くなる。
- ・ また、これ以上、造成地盤高を高くした場合は、さらに平場が狭くなることに加え、現道からの進入路確保が必要になる。逆に低くした場合は、法面工の施工箇所及び面積が増える上に、敷地への進入路の確保も困難となる。 

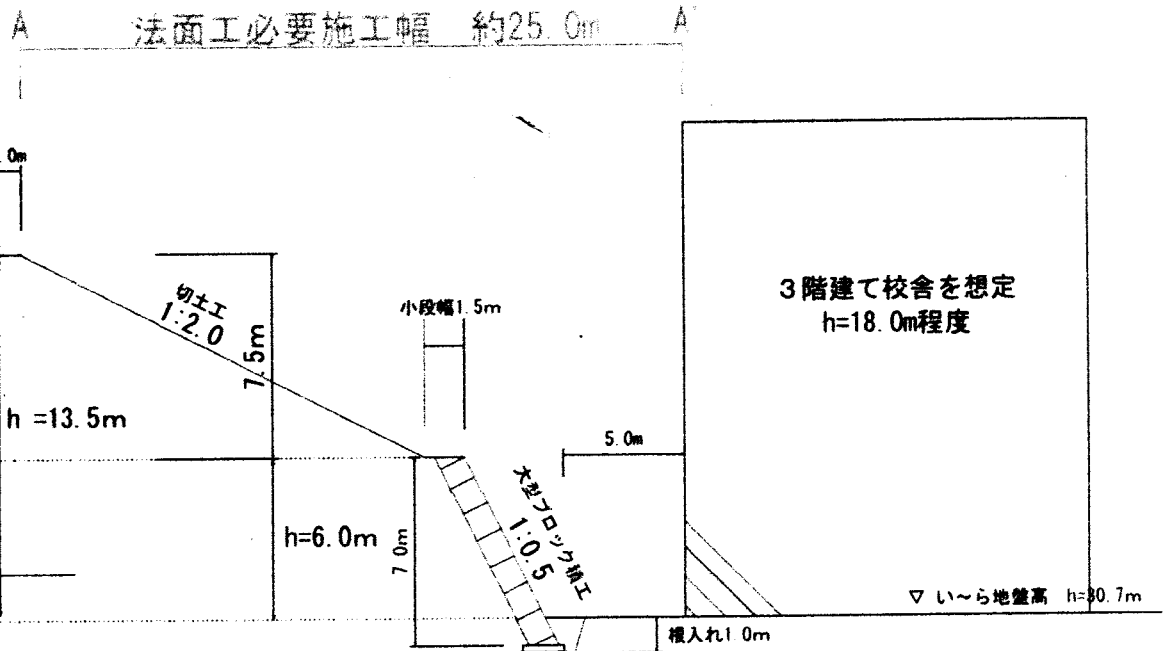
い～ら北側候補地（校地範囲21,080㎡）の検討について  
 （地盤高(30.0m)で平場造成した場合） 縮尺：1/250

図-4

想定平場面積 約A=18,000㎡  
 想定発生土量 約V=30万m³



法面工断面図 (縮尺1/100)



**Q い～ら西側が候補から外れた理由を知りたい。**

- ・ い～ら西側は、敷地中央に河川があり敷地を分断する形となっており、現在、河川の付け替え予定はない。
- ・ 仮に、河川を付け替えた場合でも、敷地面積は2.5 haしかとることができない上、周辺敷地との高低差が大きくなる。
- ・ また、付け替えにより、川の流速が増す形となるため、護岸の補強や落差工事等の対策が必要となり、多額の費用が掛かる。
- ・ さらに河川工事後に造成等の工事着工となるため、2030年までの開校が実現できない。**図-5**

**Q 相良小中学校を盛土して候補地とできないか。**

- ・ 市民が一番不安に思っている津波浸水想定区域には学校を建てないこととして、建設候補エリアを指定している。
- ・ 前述のとおり、敷地一帯が相良城の埋蔵文化財包蔵地として指定されているため、発掘調査が必要となるが、教育活動を行いながら調査を行うことは不可能だと考える。
- ・ 津波に対応するには5mの盛土が必要となる。相良小中学校のグラウンドは遊水地の機能を持つため、盛土をすることで近隣住宅への浸水被害等が起こりうることが想定される。

**全体の参考資料**

- 津波浸水想定区域地図
- 河川浸水想定区域地図
- 埋蔵文化財分布図
- 南海トラフ地震被害想定（基本ケース）液状化可能性分布

い～ら西側候補地に関わる参考図

図-5

縮尺：1/250

想定平場面積 約2.5ha

(河川の付替えをした場合)

候補地7：い～ら西側 (河川付替えした場合で25,200㎡)

赤松＝敷地範囲

源々木川河川付替えルート案

相良地域学校用地候補地 状況整理シート

■相良地域候補地1 大沢公民館西側

項目	評価視点			課題と考えること	解決策
	メリット	デメリット	デメリット		
1 防災 (安全性)	津波				
	水害				
	土砂災害				
	整備面積				
2 土地利用	地形・ 整地形状			・ため池や埋蔵文化財の対応	
	周辺状況				
3 教育環境	教育活動のし やすさ				
	道路幅員				
4 アクセス (利便性、通 学安全性)	通学路	・市街地から近く、国道に接する ・徒歩、自転車通学には利便性が 高い			
	駐車場				
	スクールバス				
	工 事 費				
5 用地・ 建設 (経済性、実 現可能性)	工事中周辺 への影響				
	用地取得				
	代替地整備				
6 地域性	地域との関わり				
	合意形成のしやすさ				
7 その他					

相良地域学校用地候補地 状況整理シート  
■相良地域候補地2 相良総合グラウンド

項目	評価視点			メリット	デメリット	課題と考えること	解決策
	津波	水害	土砂災害				
1 防災 (安全性)				・高台にあり、安全面では津波や風水害の影響を受ける心配がない	・山に囲まれ、温気が溜まりやすいことから、土砂災害や水はけへの心配		
2 土地利用	整備面積			・平地(グラウンド)はよく整備されており、施設が配置しやすい形状		・代替グラウンドの整備候補地や現グラウンドの利用状況等は要確認	
	地形・ 整地形状						
3 教育環境	周辺状況			・市街地に近い高台で景観がよい	・民家等が少なく、防犯面で心配である。		
	教育活動のしやすさ			・周辺は森林で静かな学習環境が見込まれる			
4 アクセス (利便性、通 学安全性)	道路幅員				・主要幹線道路から離れているので、今ある道路の拡張は必要		
	通学路				・幹線道路からの進入路が急坂で長すぎる。子供たちの、徒歩・自転車通学が大変		
	駐車場						
	スクールバス						
5 用地・ 建設 (経済性、実 現可能性)	工事費				・代替地整備にかかる経費が大きい	・代替地の場所の見込みがあるか	
	工事中周辺 への影響				・山に囲まれ、温気が溜まりやすいことから、建物が錆びやすいことによる維持管理面での不安がある	・グラウンドの跡地は相良小・中学校にしたら費用は抑えられないか	
	用地取得					・全体の事業費が大きいため、市の財政負担が可能か	
	代替地整備						
6 地域性	地域との関わり					・利用者の理解を得ることができ るか	
	合意形成のしやすさ					・「みんなの学校」が実現できる か	
7 その他							



相良地域学校用地候補地 状況整理シート  
■相良地域候補地3 大沢IC周辺

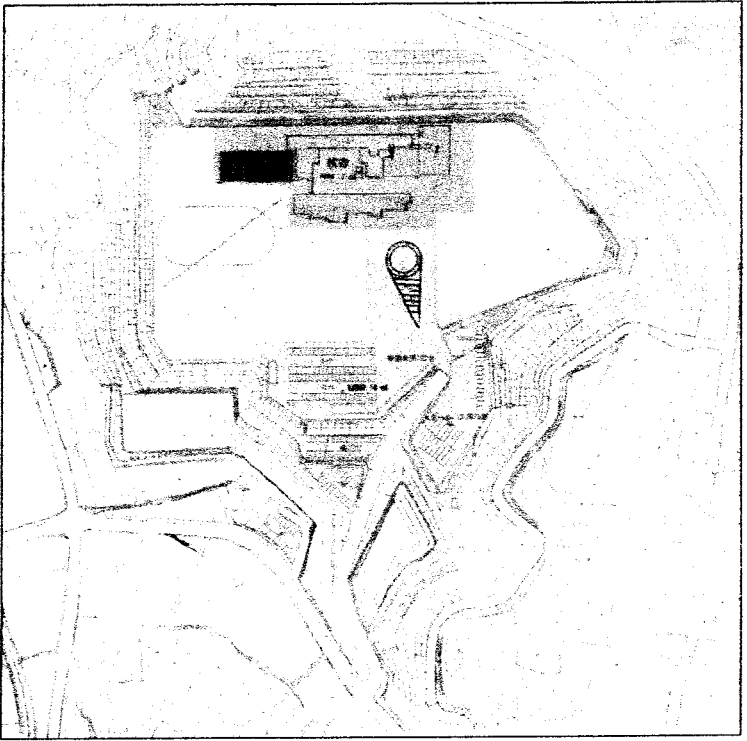
項目	評価視点		メリット	デメリット	課題と考えること	解決策
	津波	水害				
1 防災 (安全性)	津波	津波、水害の心配がない 万が一想定外の津波が起きても、 バイパスや総合グラウンド等、避難 地が多数ある				
	水害					
2 土地利用	土砂災害		<ul style="list-style-type: none"> <li>平場面積が広い</li> <li>余裕を持った校舎や施設配置が できる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>一部埋蔵文化財包蔵地の指 定がある</li> </ul>	
	整備面積 地形・ 整地形状					
3 教育環境	周辺状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地に近い</li> <li>みどり文化の森等の他の公共施 設との関連を持てる</li> </ul>				
	教育活動のし やすさ					
4 アクセス (利便性、通 学安全性)	道路幅員	<ul style="list-style-type: none"> <li>大沢インターに隣接し、交通利便 性が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進入路の拡幅が必要</li> <li>通学路の整備が必要</li> </ul>			
	通学路	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路も徒歩・自転車通学に支 障がない</li> </ul>				
	駐車場	/				
	スクールバス					
5 用地・ 建設 (経済性、実 現可能性)	工事費	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事費が一番かからない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅移転がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地買収が計画通りに進むか</li> <li>円滑な住宅移転が可能か</li> </ul>	
	工事中周辺 への影響					
	用地取得					
	代替地整備					
6 地域性	地域との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地に近く、学校にとっても、ま ちづくりの面からも条件がいい</li> </ul>				
	合意形成のしやすさ					
7 その他						

1200人規模校を想定

(1) 榛原地域

必要最低校地面積：約35,000㎡ (例：川崎小学校(静波グラウンド含む)規模)

(※)必要最低校地面積については、施設間の隙間等、空き地として必要な面積を見込まない数値

		候補地1：榛原総合運動公園ぐりんぱる										
概要	特徴	高台にある市有地で、都市計画決定された運動公園										
	面積	敷地面積：131,000㎡ (市有地面積：131,000㎡、新規取得：0㎡) 平地面積：約53,000㎡ 平地面積が必要面積の1.51倍程度										
	概算費用	<table border="0"> <tr> <td>施設整備費：約49億8,000万円</td> <td>代替地整備</td> </tr> <tr> <td>造成費等：約8億5,000万円</td> <td>施設整備：約65億7,000万円</td> </tr> <tr> <td>用地買収費：0円</td> <td>用地買収費：約8億円(田)</td> </tr> <tr> <td>合計：約58億3,000万円</td> <td>合計：約73億7,000万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">施設整備+代替地整備=約132億円</td> </tr> </table>	施設整備費：約49億8,000万円	代替地整備	造成費等：約8億5,000万円	施設整備：約65億7,000万円	用地買収費：0円	用地買収費：約8億円(田)	合計：約58億3,000万円	合計：約73億7,000万円	施設整備+代替地整備=約132億円	
	施設整備費：約49億8,000万円	代替地整備										
造成費等：約8億5,000万円	施設整備：約65億7,000万円											
用地買収費：0円	用地買収費：約8億円(田)											
合計：約58億3,000万円	合計：約73億7,000万円											
施設整備+代替地整備=約132億円												
その他	徒歩・自転車通学44%、バス通学56% (徒歩圏域2.5kmの場合)											
建設単価	<p style="text-align: center;"><b>249,000円/㎡</b></p> <p style="text-align: center;">(代替地整備を含まない場合110,000円/㎡)</p>											
整備イメージ図												
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画公園の認定解除のための協議、申請、代替グラウンドの整備が必要となる。</li> <li>・大型バスの乗り入れのために進入路の拡幅工事が必要。</li> <li>・急こう配の通学路で徒歩、自転車通学者に負担がかかる。</li> </ul>											

# 取扱注意

<b>候補地2：榛原中学校及び周辺</b>	
現在の中学校の場所	
敷地面積：61,000㎡（既存敷地面積45,621㎡、市有地面積：12,379㎡、新規取得：3,000㎡） 平地面積：約60,000㎡ 平地面積が必要面積の1.71倍程度	
施設整備費：約59億4,000万円+既設校舎除却費約：5億円 造成費等：約1億6,000万円 用地買収費：約1億円（田） 合計：約62億円+5億円 施設整備+除却=約67億円	
徒歩・自転車通学60%、バス通学40%（徒歩圏域2.5kmの場合）	
<b>111,000円/㎡</b>	
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地が平坦で、子どもの移動がしやすい。</li> <li>・周辺の道路環境がよく、スクールバス運行がしやすい。</li> <li>・建設期間中、工事騒音、規制が多く、榛中生徒への影響が大きい。</li> <li>・河川洪水L1（1～3m）が想定されるため、洪水対策として施工の工夫（盛土やピロティ構造等）が必要となる。</li> </ul>	

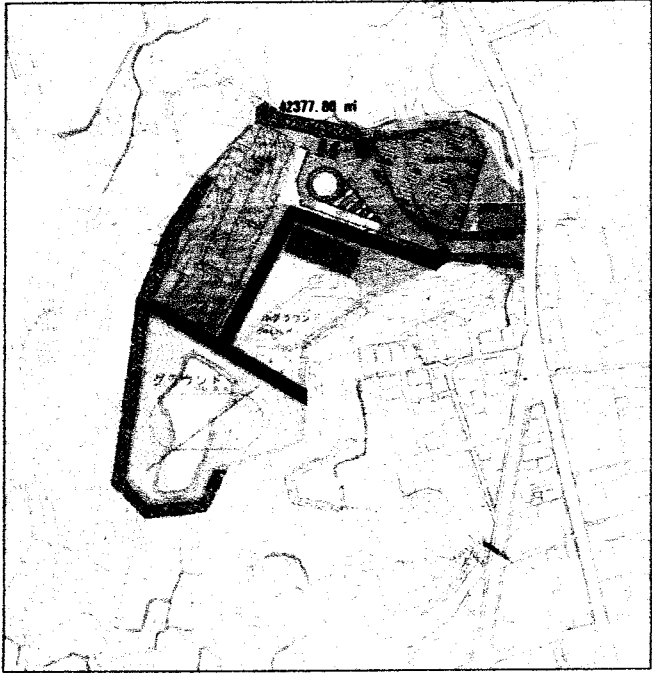
※本資料の撮影、複製、外部への転載および関係者以外の閲覧は固く禁止します。

※整備イメージ図における各施設配置はあくまでも仮のものです。

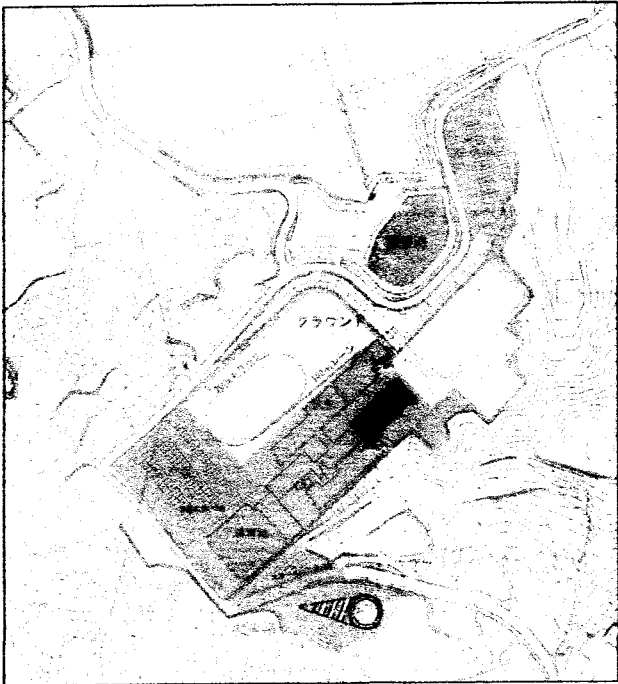

900人規模校を想定

(2) 相良地域 必要最低校地面積：約30,000㎡ (例：相良小学校規模)

(※)必要最低校地面積については、施設間の隙間等、空き地として必要な面積を見込まない数

		候補地1：大沢公民館西側周辺
概要	特徴	市街地に近い山を切り盛りして、新たな高台の平場をつくる
	面積	敷地面積：65,000㎡ (市有地面積：0㎡、新規取得：65,000㎡) 平場面積：約31,000㎡ 平場面積が必要面積の1.03倍程度
	概算費用	施設整備費：約48億1,000万円 造成費等：約18億9,000万円 用地買収費：約3億円 (田、山林等) 合計：約70億円
	その他	徒歩・自転車通学62%、バス通学38% (徒歩圏域2.5kmの場合)
建設単価	225,000円/㎡	
整備イメージ図		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・候補地の全てが民有地となり、用地買収が必要となる。</li> <li>・市街地から近い。</li> <li>・各施設間に段差が生じ、子どもの移動に負担がかかる。</li> <li>・朝の通勤時のスクールバス運行により、国道の渋滞が想定される。</li> <li>・ため池利用者との協議や受益者への説明が必要となる。</li> <li>・用地内に寺社の敷地がある。</li> <li>・敷地への進入路として、歩道のない国道473号に接続するため、国道の拡幅工事等が必要になる。</li> <li>・用地中央部の一部が埋蔵文化財包蔵地に指定されている。</li> </ul>	

# 取扱注意

候補地2：相良総合グラウンド	候補地3：大沢IC北側周辺
市街地に近く、高台にある市の総合グラウンド	市街地及び商業施設に近い民地
敷地面積：53,000㎡（市有地面積：53,000㎡、新規取得：0㎡） 平場面積：約40,000㎡ 平場面積が必要面積の1.33倍程度	敷地面積：48,000㎡（市有地面積：1,000㎡、新規取得：47,000㎡） 平場面積：約42,000㎡ 平場面積が必要面積の1.40倍程度
施設整備費：約51億9,000万円 造成費等：約5億7,000万円 用地買収費：0円 合計：約57億6,000万円 代替地整備 施設整備：約24億4,000万円 用地買収費：約3億円（田） 合計：約27億4,000万円 施設整備+代替地整備=約85億円	施設整備費：約46億円 造成費等：約9億5,000万円 用地買収費：約6億5,000万円（田、宅地等） 合計：約62億円
徒歩・自転車通学55%、バス通学45%（徒歩圏域2.5kmの場合）	徒歩・自転車通学58%、バス通学42%（徒歩圏域2.5kmの場合）
<b>213,000円/㎡</b> (代替地整備を含まない場合144,000円/㎡)	<b>148,000円/㎡</b>
	
<p>用地買収の必要がない。</p> <p>工事施工条件として代替グラウンドの整備が必要となる。</p> <p>代替施設整備までの期間、当グラウンドを利用することができない。</p> <p>急こう配の通学路で徒歩、自転車通学者に負担がかかる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・候補地のほぼ全てが民地となり、用地買収が必要となる。</li> <li>・市街地から近く、商店等もあるため、教育活動がしやすくなる。</li> <li>・大沢ICに隣接し交通の利便性が良い。</li> <li>・みどり文化の森と接続でき、将来の開発可能性が高い。</li> <li>・候補敷地内に住宅があり、住宅移転が必要となる。</li> <li>・用地東側の一部が埋蔵文化財包蔵地に指定されている。</li> <li>・進入路の整備が必要となる。</li> </ul>

※本資料の撮影、複製、外部への転載および関係者以外の閲覧は固く禁止!

※整備イメージ図における各施設配置はあくまでも仮のもの

(1) 榛原地区候補地チェックシート

学校計画：目標整備面積：35,000㎡ 1,200人規模校

		評価視点		候補地1：榛原総合運動公園ぐりんばら メモ	候補地2：榛原中学校及び周辺 メモ
1 防災(安全性)	津波	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波浸水想定区域となっているか。</li> </ul>			
	水害	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川洪水浸水区域となっているか。</li> </ul>			
	土砂災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害警戒区域となっているか。</li> </ul>			
2 土地利用	整備面積	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要最低平地面積(榛原地区3.5万㎡)を取ることができるか。</li> <li>他の機能(駐車場・ロータリー・その他の機能)等を追加することができる面積があるか。</li> </ul>			
	地形・整地形状	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康で文化的な環境を得ることができるか。</li> <li>施設の配置がしやすい形状か。</li> <li>死角等が生じない、見通しの良い地形であるか。</li> </ul>			
3 教育環境	周辺状況・教育活動のしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺に公共施設、商店、里山などがあり、教育活動がしやすいか。</li> <li>周辺に交通の混雑や騒音、臭気等はないか。</li> </ul>			
	道路幅員	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路幅員があり、緊急車両の進入等に支障はないか。</li> </ul>			
4 アクセス (利便性、通学安全性)	通学路	<ul style="list-style-type: none"> <li>徒歩、自転車通学者が通いやすいか。</li> </ul>			
	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバスの駐車場やロータリーが確保できるか。</li> <li>職員用、来客用の駐車場を確保できるか。</li> </ul>			
	スクールバス	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバスの運行台数はどうか。</li> <li>路線バスとの併用は可能か。</li> </ul>			
5 用地・建設 (経済性、実現可能性)	工事費	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地取得費、造成費、建設費、進入路整備費、代替地等のトータルコストが抑えられるか。</li> <li>工期の見通しが立つか。</li> </ul>			
	工事中周辺への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事による周辺への影響があるか。</li> </ul>			
	用地取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地取得はあるか。</li> </ul>			
6 地域性	代替地整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>代替地整備の必要があるか。</li> </ul>			
	地域との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人が来やすい場所であるか。</li> <li>市民の合意を得やすい場所であるか。</li> </ul>			
7 その他	合意形成のしやすさ				

(2) 相良地区候補地チェックシート

学校計画：目標整備面積：30,000㎡、900人規模校

	評価視点		
	候補地1：大沢公民館西側周辺 メモ	候補地2：相良総合グラウンド メモ	候補地3：大沢IC北側周辺 メモ
1 防災(安全性)	津波	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波浸水想定区域となっているか。</li> </ul>	
	水害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川洪水浸水区域となっているか。</li> </ul>	
	土砂災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害警戒区域となっているか。</li> </ul>	
2 土地利用	整備面積	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要最低平地面積(相良地区3.0万㎡)を取ることができるか。</li> <li>・他の機能(駐車場・ロータリー・その他の機能)等を追加することができる面積があるか。</li> </ul>	
	地形・整地形状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康で文化的な環境を得ることができるか。</li> <li>・施設の配置がしやすい形状か。</li> <li>・死角等が生じない、見通しの良い地形であるか。</li> </ul>	
	周辺状況・教育活動のしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺に公共施設、商店、屋山などがあり、教育活動がしやすいか。</li> <li>・周辺に交通の混雑や騒音、臭気等はないか。</li> </ul>	
3 教育環境	道路幅員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路幅員があり、緊急車両の進入等に支障はないか。</li> </ul>	
	通学路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩、自転車通学者が通いやすいか。</li> </ul>	
	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバスの駐車場やロータリーが確保できるか。</li> <li>・職員用、来客用の駐車場を確保できるか。</li> </ul>	
	スクールバス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバスの運行台数はどうか。</li> <li>・路線バスとの併用は可能か。/</li> </ul>	
5 用地・建設 (経済性、実現可能性)	工事費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得費、造成費、建設費、進入路整備費、代替地等のトータルコストが抑えられるか。</li> <li>・工期の見通しが立つか。</li> </ul>	
	工事中周辺への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事による周辺への影響があるか。</li> </ul>	
	用地取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得はあるか。</li> </ul>	
	代替地整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代替地整備の必要があるか。</li> </ul>	
6 地域性	地域との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人が来やすい場所であるか。</li> </ul>	
	合意形成のしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の合意を得やすい場所であるか。</li> </ul>	
7 その他			